

No.	401	<b>キャンドルのつどい</b>			
概要	仲間とろうソクの炎を囲み、ゲーム、ソング、ダンス、スタンツなどを行います。また、研修のまとめとして行うこともできる。				
内容	人数(人)	~200人	時間	2時間	
	対象	どなたでも	時期	通年	
	場所	多目的ホール・体育館・第1・第2創作室			
	指導形態	自主活動・事前の説明のみ・直接指導			
	安全管理	引率者による、火の管理・監督(消火まで)。また、点火時の安全指導・管理。			
ねらい	○なかまと共に過ごす喜びを味わい、友情を深める。 ○グループごとに、準備・片づけや活動をすることで協力の心、思いやりの心を育てる。 ○火の神秘さや大切さに気付くことができる。				
準備	施設から貸出	・営火長等の衣装・ワイヤレスアンプ・ワイヤレスマイク・CDデッキ・延長コード・中央燭台・個人用燭台・音楽CD・ペンライト・活動資料			
	団体で準備	・活動しやすい服装・スタンツ等で必要なもの <教材として注文するもの>・ろうそく(大)5~6本程度・ろうそく(小)1人1本			
	確認事項	・つどいの流れについては、各団体で事前に確認しておく。(事務室に参考資料あり) ・進行や役割分担、スタンツ等の事前準備を、必要に応じて行っておく。			

	内容	留意事項
活動前	○引率及び研修者の一部で、職員といっしょに「キャンドル打ち合わせ」を行う。この時、借用物の確認をする。また、キャンドル同士の点火や消火の仕方を確認する。 (16時30分から30分程度)	○準備担当10名程度必要。 ○準備時には、職員が、燭台、片付け方、ろうソクの消火後の置き場所等の確認を行う。 ○当日複数の団体がキャンドルのつどいを行う場合は、所が場所を指定する。
活動の説明	○必要に応じて、キャンドルのつどいの目的・流れなどを説明する。	
展開	<p>(プログラム例)</p> <p><b>第1部 採火の儀式</b></p>  <p>※儀式なので、静かな雰囲気の中で行うことが多い。各団体で、進行・BGM等は自由に行う。</p> <p>研修で、手作りろうソクを作る活動を行ってもよい。</p>  <p><b>第2部 親睦の火(スタンツやゲーム等)</b></p>  <p>※グループごとのスタンツ(出し物) ※研修中や事前準備で時間をとって準備することが多い。</p> <p>レクレーション</p>  <p>※第2部は、楽しい交流の場。進行係が、スタンツ、レク等のプログラムを考え、参加者の思い出の場に。</p> <p><b>第3部 送火の儀式</b></p>  <p>中央燭台の火を参加者の燭台のろうソクに分火する。その際に、研修の思い出を語り合うこともある。</p> <p>※儀式なので、静かな雰囲気の中で行うことが多い。各団体で進行・BGM等は自由に行う。</p> <p>研修者退場後、片付け。</p>	○終了後、片付けを行い(火の確認等)、事務室に連絡し、職員の点検を受けること。 ○購入したろうソクは、使用后団体で持ち帰ってもかまわない。 ○利用団体は、健康状態の把握に努め、特に留意しなければならないことがあれば事前に相談すること。 ○つどいの流れは、団体独自の流れで進める。(事務室に、参考資料あり) ○ろうソクの代わりにペンライトへの変更が可能。(ペンライトは貸出可) ろうソクは、団体制作のオリジナルでもよい。ただし、持ち込んだろうソクは、使用後は持ち帰る。 ○片付けに関しては、事前の説明の通りにおこない、消火は安全に留意して行う。